第36回 組織細胞化学講習会

見るバイオサイエンス ―― 基礎から最先端技術まで

JSHC
Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry
Established 1959

KYORIN

日本組織細胞化学会の主催で毎年夏に行われている組織細胞化学講習会を本年は下記のように東京都三鷹市にて開催します。

あらゆる細胞や組織の機能状態をビジュアルに解明する組織細胞化学の手法は、バイオサイエンスに携わるすべての研究者にとって必須の手技のひとつになっています。本講習会では、これから組織細胞化学を始める方から、先進的な技法を追究する方まで、すぐに役立つような実践的な内容を豊富に盛り込んで、各分野のエキスパートの先生方に解説していただきます。さらにWet Labでは希望のコースの手法を実地体験できます。

医学分野はもとより、薬学・歯学・理学・農学など、生命現象を扱うすべての研究者・技術者の方々に多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

第36回組織細胞化学講習会　実行委員長　川上速人
杏林大学医学部解剖学教室

http://www3.nacos.com/jshc/kosyu/　最新情報はホームページにて配信いたします。

1．開催期日・会場

2011年（平成23年）８月３日（水）～８月５日（金）

８月３日（水）講習会第１日目：三鷹市公会堂（東京都三鷹市）
懇親会：レストランGARDEN（杏林大学三鷹キャンパス）

８月４日（木）講習会第２日目：三鷹市公会堂

８月５日（金）技術講習会（Wet Lab）：杏林大学三鷹キャンパス

2．受講登録の流れ

1 オンラインまたはFAXで申し込む。

申込締切日：2011年６月30日（木）
定　　員：300名（先着順）　締切日前でも定員になり次第、受付を終了いたしますのでご注意ください。
※詳細は、講習会ホームページ（http：//www３.nacos.com/jshc/kosyu/）にてご確認いただくか、
実行委員会事務局（info_36kjshc@nacos.com）までお問い合わせください。

2 「受講申込正常受信通知」が届く。

オンライン申し込みの場合はE-mailで、FAX申し込みの場合はE-mailあるいはFAXで配信します。
申し込み後24時間以内に「受講申込正常受信通知」が届かない場合は、申し込みが完了していない可能性がありますので、必ず学会事務局（TEL：075-415-3661）までご連絡ください。

3 「受講費払込用振替用紙」、「受講コース決定通知書」が届く。

申し込み後10日前後で「受講費払込用振替用紙」と払込締切日(注1)のお知らせ、「Wet Lab（希望者のみ）の受講コース通知書」をお送りします。

注１）払込締切日は、振替用紙のご送付後２週間程度が目安となります。

4 受講費を払い込む。

指定された払込締切日(注1)までにご入金が難しい場合は、実行委員会事務局（TEL：0422-47-5511 内線3416）へ必ずご連絡ください。ご入金、ご連絡のいずれもない場合、申し込み取り消しの扱いになりますので、あらかじめご了承ください。

5 受講登録完了

ご入金が確認され次第、受講者として登録し、E-mailまたはFAXにて登録完了のご連絡をいたします。

3. 講習会・技術講習会　受講費

本講習会・技術講習会の受講費および懇親会費は以下の通りです。

講習会（テキスト代含）		
正会員	20,000円	受講申込書及び受講費払込用振替用紙には、会員番号を記載する欄があります。会員受講費の適用を希望される会員は、会員番号を忘れずに記載してください。会員番号がご不明な方は、日本組織細胞化学会事務局（TEL：075-415-3661／E-mail：jshc@nacos.com）までお問い合わせください。
学生会員	10,000円	
正会員 入会予定者	20,000円	別途、学会年会費がかかります。 この機会に、日本組織細胞化学会にご入会いただける方には会員受講費を適用いたします。現時点で非会員の方で会員受講費の適用を希望される方は、受講申し込み終了後に、別途、本学会への入会手続きをお取りください。入会申し込みに際しては、パンフレット最終ページの『講習会受講者専用入会申込書』をご利用いただき、日本組織細胞化学会事務局（※講習会実行委員会事務局とは異なります）までご送付ください。なお、通常の入会手続きには上記講習会受講費とは別に、年会費（正会員：10,000円/学生会員：5,000円）＋入会金（2,000円）が必要となりますが、専用申込書を利用された方に限り、入会金（2,000円）を免除いたします（取扱有効期限：2011年６月30日）。講習会受講費のお振り込み先と、学会年会費のお振り込み先は異なりますので、ご注意ください。
学生会員 入会予定者	10,000円	
非会員一般	30,000円	
非会員学生	15,000円	対象は、非会員の大学学部学生または大学院学生です。受講申し込み後に実行委員会より送付されます「受講費払込用振替用紙」の「学生の証明」欄に指導教員の署名・捺印をいただいた上、お振り込みください。指導教員の署名・捺印が未記入の場合は、学生と認められませんのでご注意ください。
技術講習会 （Wet Lab）	20,000円	講習会受講者のうち希望者を対象に行います。技術講習会（Wet Lab）のみの受講はできません。 A～Lコースを選択して受講していただきます（コース紹介は４、５ページをご覧ください）。費用は、会員・非会員・学生にかかわらず全コースで一律です。 希望コースは先着順で受け付けます。いずれのコースも定員となり次第、受付を終了いたしますので、お早めにご登録ください。
懇親会	5,000円	講習会１日目（８月３日）に行われます。 受講者相互の親睦、また講師陣に直接の質疑ができるよい機会ですので、奮ってご参加ください。 懇親会費は、受講費と併せてお振り込みください。

4. 受講登録後のご注意

※領収証は、振替払込請求書兼受領証をもって代えさせていただきますので講習会終了時まで大切に保管してください（実行委員会発行の領収証が必要な場合は、講習会当日、総合受付にてお申し出ください）。

※講習会テキスト（講習会受講証兼名札同封）は、７月中旬頃発送の予定です。講習会前々日になってもテキストが到着しない場合は、講習会当日に振替払込請求書兼受領証を会場総合受付までお持ちください。受領証を確認のうえテキストをお渡しします。

講習会当日のご注意

※講習会当日は、テキストの他、講習会受講証兼名札を忘れずにお持ちください。講習会受講証兼名札をお持ちでない方のご入場は、お断りすることがあります。

5. 受講登録後のキャンセルについて

1）受講登録後、受講をキャンセルされる場合は実行委員会事務局までFAX（0422-44-0866）または郵送で必ずご連絡ください。受講費をすでにお支払いいただいている場合は、返金のための口座について、銀行名、支店名、口座種別（普通または当座）、口座番号、口座名義人（フリガナ）をご連絡ください。なおE-mail、電話では受け付けませんのでご注意ください。

2）キャンセルの申出締切日は、**2011年６月30日（必着）**とし、振り込まれた受講費から手数料を差し引いた金額をご指定の口座に返金いたします。

3）上記期限以降のキャンセルにつきましては、受講費の返金には応じかねますので、ご了承ください。

6. お問い合わせ

第36回組織細胞化学講習会実行委員会事務局
▸▸講演・技術講習会の内容に関するお問い合わせ

杏林大学医学部解剖学教室（顕微解剖学）
実行委員長　川上　速人
〒181-8611　東京都三鷹市新川6-20-2
ＴＥＬ：0422-47-5511（内線3416）
ＦＡＸ：0422-44-0866
ＵＲＬ：http://www3.nacos.com/jshc/kosyu/
E-mail：info_36kjshc@nacos.com

日本組織細胞化学会事務局
▸▸入会、オンライン登録システムに関するお問い合わせ

中西印刷株式会社学会部内
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル
ＴＥＬ：075-415-3661　FAX：075-415-3662
ＵＲＬ：http://www3.nacos.com/jshc/
E-mail：jshc@nacos.com

講習会プログラム

講演の概要は、講習会ホームページ（http://www3.nacos.com/jshc/kosyu/）に掲載されています。

8月3日(水)　講習会第1日目（三鷹市公会堂）　9：30 受付開始

挨拶：髙松哲郎 日本組織細胞化学会理事長 ／ 川上速人 実行委員長　9：50▸▸

A 組織細胞化学の基礎　10：00▸▸12：30

- 免疫染色の原理と基礎技術 ―初心者が知っておくべきポイント― — 千田　隆夫（藤田保健衛生大学医学部解剖学第一講座）
- 固定法と抗原の賦活化 — 山下　修二（慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室）
- 免疫電子顕微鏡法の基礎と応用 — 小澤　一史（日本医科大学大学院医学研究科生体制御形態科学分野）
- 組織細胞化学のための凍結技法の基礎と応用 ―生きた形態解析を目指す生体内凍結技法― — 寺田　信生、大野　伸一（山梨大学大学院医学工学総合研究部解剖分子組織学教室）
- 膜を構成する分子の解析法 — 藤本　豊士（名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞学分野）

昼食

B 遺伝子発現の解析技術　13：30▸▸15：30

- *In situ*ハイブリダイゼーションの基礎と応用 — 小路　武彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科組織細胞生物学分野）
- ホールマウント*In situ* ハイブリダイゼーション法とその応用 — 金井　正美（東京医科歯科大学実験動物センター）
- DNA-FISH法 ～プローブ作製から染色、応用まで～ — 村田　晋一、瀬山　敦（埼玉医科大学国際医療センター病理診断科）
- RNAi法の基礎と応用そして評価方法 — 北條　浩彦（国立精神・神経医療研究センター神経研究所）

C 共焦点顕微鏡と画像技術　16：00▸▸17：30

- 共焦点および蛍光顕微鏡を使いこなす基礎知識 — 鈴木　健史（群馬大学大学院医学系研究科生体構造学）
- 画像処理から発表までのワークフロー — 村上　徹（群馬大学大学院医学系研究科機能形態学）
- 画像解析技術の活用法 — 宮東　昭彦（杏林大学医学部解剖学教室）

懇親会：レストランGARDEN（杏林大学三鷹キャンパス）

8月4日(木)　講習会第2日目（三鷹市公会堂）　9：30 開始（9：15開場）

D 糖鎖解析技術　9：30▸▸10：30

- 糖の組織細胞化学 — 秋元　義弘（杏林大学医学部解剖学教室）
- 糖鎖分析技術を取り入れた組織細胞化学研究 — 池原　譲（産業技術総合研究所糖鎖医工学研究センター分子医用技術開発チーム）

E イメージング技術の新しい展開　10：45▸▸12：45

- 光による生体分子イメージング技術 — 髙松　哲郎、田中　秀央（京都府立医科大学大学院医学研究科細胞分子機能病理学）
- カルシウムイメージング技術の基礎 — 佐藤　洋一（岩手医科大学医学部解剖学講座細胞生物学分野）
- 蛍光遺伝子改変動物の作製と可視化 — 齋藤　尚亮（神戸大学バイオシグナル研究センター）
- 蛍光プローブの精密設計による、新たな生細胞機能可視化の実現 — 浦野　泰照（東京大学大学院医学系研究科）

昼食

F 病理診断と臨床応用　14：00▸▸16：00

- 免疫染色のトラブルシューティング — 堤　寛（藤田保健衛生大学医学部病理学）
- 腫瘍の病理診断と免疫染色 — 菅間　博（杏林大学医学部病理学教室）
- 病理診断におけるレーザーマイクロダイセクション法の実際 — 中西　陽子（日本大学医学部病態病理学系病理学分野）
- 免疫染色による治療方針決定への応用 — 藤井多久磨（慶應義塾大学医学部産婦人科）

技術講習会（Wet Lab）プログラム

8月5日(金)

9：30▶▶16：00（但し、各コースにより終了時刻は異なります）
杏林大学三鷹キャンパス

技術講習会(Wet Lab)は、講習会受講者を対象に行います。
技術講習会(Wet Lab)のみの受講はできません。希望コースは先着順で受け付けます。

Aコース 定員12名
蛍光顕微鏡基礎知識の修得
―観察からデジタルカメラによるタイムラプス撮影まで

細胞研究の基本的な手法として、蛍光顕微鏡を用いて細胞を観察し記録する方法があります。この講座では、蛍光標識した細胞内オルガネラのタイムラプス撮影を通して、顕微鏡とデジタルカメラの正しい使用法を修得していただく予定です。

【講義講習】蛍光観察のアプリケーションについて／対物レンズの基礎知識／位相差、微分干渉、蛍光の各観察法の基礎知識／デジタルカメラの基礎知識**【実習講習】**顕微鏡の基本調整法／位相差法、微分干渉法の調整、操作法／蛍光顕微鏡の調整、操作法／デジタルカメラの調整、操作法とタイムラプス撮影法／トラブルシューティング

〔協力：オリンパス株式会社〕

Bコース 定員10名
光学顕微鏡の基礎から、
3Dイメージングの実際まで

近年、顕微鏡を用いたイメージングの重要性が高くなって来ております。本講習では、基本的な研究機器である光学顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡を用いて、講義と実習で基礎理論から正しい取扱方法、画像取得の方法、3Dイメージングまでのエッセンスを受講者の方々にお伝えする事を目的と致します。

【講習内容】①光学顕微鏡の歴史及び基礎知識（講義）、②光学顕微鏡の取扱・調整の実際（顕微鏡実習）、③光学顕微鏡での観察・撮影の実際(顕微鏡実習)、④共焦点レーザー顕微鏡の基礎知識(講義)、⑤共焦点レーザー顕微鏡の取扱・調整の実際（顕微鏡実習)、⑥共焦点レーザー顕微鏡での観察・撮影の実際（顕微鏡実習)、⑦3D解析の基礎知識（講義)、⑧3D解析の実際（実習）

【使用機器】AxioImager, AxioCam, AxioVision, LSM510META (ZENソフトではありません) , IMARIS

〔協力：カールツァイスマイクロイメージング株式会社　プロダクトサポートデパートメント〕

Cコース 定員10名
共焦点レーザー顕微鏡の基本テクニックと
スペクトルイメージング

共焦点顕微鏡は、バイオイメージングにおいて非常にポピュラーなツールとなっています。近年様々な応用技術が開発されており、その一つであるスペクトルイメージング機能を利用することで、蛍光ピークが近接している複数の蛍光色素のシグナル分離、あるいは自家蛍光と蛍光シグナルの分離などへの応用が高まってきています。本実習では、共焦点顕微鏡での画像取得に際してのレーザーやフィルターの選択、パワーやゲインの調整等の基礎知識とテクニックを学ぶと共に、自家蛍光でバックグラウンドの高い標本から、ターゲットとしている蛍光シグナルを的確に分離・表示するテクニックを会得していただきます。共焦点顕微鏡の基本的なテクニックのノウハウ、スペクトルイメージングを利用した自家蛍光除去を経験して、様々な標本で高画質の共焦点がベストのパフォーマンスを発揮できるスキルを身につけていただくことを目的といたします。

〔協力：株式会社ニコン〕

Dコース 定員20名
レーザーマイクロダイセクション
―組織標本、植物組織、蛍光標識サンプル、培養細胞など多様な材料からのLMD―

近年のレーザーマイクロダイセクションでは装置性能の向上により、より厚く、硬い標本への対応や、速く効率の良いダイセクションが可能となっています。また、培養細胞の回収や、蛍光標識標本からのRNA抽出、パラフィン標本からのプロテオーム解析など従来難しかったアプリケーションも可能となってきました。

本コースでは、凍結・パラフィン標本の作製からレーザーマイクロダイセクションの原理・手法に関する基本的な内容の講習と実習、組織標本からのRNA抽出、培養細胞回収、パラフィン標本からのプロテオーム解析といった実践的なアプリケーション事例についてご紹介致します。

●レーザーマイクロダイセクションの原理に関する講習と、研究事例の紹介（講義）、●レーザーマイクロダイセクションの操作に関する実習、●凍結・パラフィン標本の作製（講義、実演および実習）、●レーザーマイクロダイセクションでの培養細胞回収（実演、実習）

〔協力：ライカマイクロシステムズ株式会社　リサーチ・クリニカル事業部〕

Eコース 定員20名
免疫組織化学染色の基礎とマイクロウェーブを使用した迅速染色法(特殊染色・免疫組織染色)、ティッシュアレイヤー装置を使用したアレイブロック作製

免疫組織染色法は抗原に抗体反応をさせ、可視化し顕微鏡で観察する方法です。マイクロウェーブ処理とは、マイクロ波によって分子運動を活発化させ、その効果は賦活化・免疫組織染色の反応・固定・脱脂・脱灰・特殊染色・FISH法などで有効性が確認されています。また、近年ではワンディパソロジー（迅速病理診断）が提唱されておりマイクロウェーブを利用した迅速化が期待されています。一方、組織マイクロアレイはドナーブロックの特定部位をくりぬき多数配列した組織集合ブロックです。アレイブロックを免疫組織染色などの方法を用いて特定の抗原などを検出することで網羅的な解析を可能にします。本コースでは、ティッシュアレイヤー装置を使用したコントロールブロックの作製と「パラフィン切片保存シート」に貼られた切片を活用し、マイクロウェーブ装置による賦活化・迅速免疫組織染色の反応・迅速特殊染色を体験していただきます。

〔協力：株式会社　東屋医科器械〕

Fコース 定員10名
基礎から学ぼう　ウェスタンブロッティング

目的タンパク質の発現を検出する方法として、タンパク質をブロットしたメンブレン上で抗体・酵素反応を行うことにより標的のタンパク質を検出するウェスタンブロッティング法は現在でも広く用いられています。本ワークショップではサンプルをSDS-PAGEにより電気泳動、ウェット式転写装置によるメンブレンへのブロッティング、抗体反応による目的タンパク質の検出までのウェスタンブロットの一通りの流れを実習形式で学ぶことが出来

ます。また組織からのサンプル調整方法、電気泳動・ウェスタンブロッティングの原理、検出法に対する基本的な考え方やノウハウ・試薬の選び方などについても解説いたします。これからウェスタンブロットを始めようと考えている方やウェスタンブロットの原理・最適化の方法を学びたい方にお薦めのワークショップです。〔協力：ライフテクノロジーズジャパン株式会社（インビトロジェン）〕

Gコース 定員12名 様々なサンプルからのリアルタイムPCRによる迅速な遺伝子発現解析

リアルタイムPCRは多様な研究の現場で活用されており、最近では培養細胞や組織のみならず、パラフィン包埋サンプル（FFPE）やレーザーキャプチャーマイクロダイセクションなどの微量なサンプルを用いた遺伝子発現解析が可能となり、研究の多様性がさらに広がっています。

今回の実習ではサンプルからのRNA抽出、cDNA作製、リアルタイムPCRでの反応系構築と内在性コントロールの選択やデータ解析までの一連の実習を体験する事で、実験手技の流れとポイントを習得する事を目的としています。実験反応の待ち時間などを利用し、リアルタイムPCRの基礎原理から特殊なサンプルでのPCR Primer設計のポイント等もあわせて説明しますので、これから遺伝子発現解析を始められる方のみならず、実際に実験を行っているが結果を思うように得ることができず、トラブルの解決に時間と手間がかかっている方にも有効となる内容を提供します。〔協力:ライフテクノロジーズジャパン株式会社（アプライドバイオシステムズ）〕

Hコース 定員10名 In Situ Hybridization法の基礎と自動前処理装置の活用

in situ Hybridization（ISH）法は、組織切片上で特定遺伝子の発現様式を解析する方法です。標識核酸プローブと組織切片内の目的遺伝子をハイブリダイゼーション反応により結合させた後、プローブ上の標識物質を抗原とする抗体を結合させます。抗体には酵素や蛍光分子が標識されており、酵素による発色反応もしくは蛍光により遺伝子の発現様式を可視化します。ISH法は一般的にはmRNAをプローブとして使用するため、RNase Freeの環境下でのサンプルの準備（固定・薄切）、実験器具・試薬の準備、ISH反応が必須になります。当コースでは組織切片サンプルを使用したデモ的な実習により実験準備から反応後の検鏡までISH法の基礎を習得します。また弊社で開発した自動前処理装置を使用したISH法の簡便化についてもご紹介致します。〔協力:アロカ株式会社〕

Iコース 定員20名 組織検体からの核酸抽出

組織検体からの核酸抽出プロセス

近年のCompanion Diagnosticsなどの普及等により、臨床使用を目的とした組織検体からのDNA、RNA抽出の機会が増加しております。リアルタイムPCR法に代表されるアッセイフローのダウンストリームはサンプル調製の影響を強く受けると考えられる為、その質の向上は以前にも増して要求されています。

本講習は組織検体からの核酸抽出を例に様々な問題点と向き合いながら実地経験を積んでいただくことと、その自動化プロセスの紹介を目的としております。〔協力：株式会社　キアゲン〕

Jコース 定員25名 初めての二次元電気泳動&ウェスタンブロット

近年、プロテオミクス分野の発展に伴いタンパク質を扱う技術の重要性も増しています。二次元電気泳動は、タンパク質の網羅的な発現解析技術として汎用されています。ウェスタンブロッティングは特定のタンパク質の発現解析を特異的かつ高感度に行う手法として利用されています。本セミナーは、これから二次元電気泳動やウェスタンブロッティングをはじめられる方を対象とした基礎的な内容です。ぜひお気軽に、ご参加ください。

ウェスタンブロッティングセミナー（午前）：泳動分離、ブロッティング、抗体反応、そして検出までウェスタンブロッティングの流れ／バックグラウンド、非特異的なバンドを抑えて高感度検出を行うためのコツをご紹介いたします。

二次元電気泳動セミナー（午後）：二次元電気泳動の原理、サンプル調製から画像解析までの実験手順の基礎テクニック／実験成功に必要なポイント、トラブルシュートをご紹介いたします。

〔協力：GEヘルスケア・ジャパン株式会社ライフサイエンス統括本部〕

Kコース 定員10名 簡便な凍結技法〈生体内〉—凍結置換固定法の免疫組織化学への応用

光顕免疫組織化学において、試料作製過程での凍結技法の有用性は、よく知られています。その理由としては、分離細胞や切除組織の凍結融解処理での抗体等プローブの浸透性亢進を期待することがあげられます。一方では、組織の固定・脱水等に伴う人工産物形成をできるだけ避けるために、凍結技法を使用することも行われてきました。本コースにおいては、動物生体内可溶性蛋白分子局在を保存した組織標本を観察するために、液性寒剤を利用する凍結技法—凍結置換固定法を学んでもらいます。(1)液性イソペンタン・プロパン混合寒剤（—193℃）の簡便な作製法、(2)新鮮切除マウス肝・腎組織の浸漬凍結技法、(3)麻酔下マウス各臓器の生体内凍結技法とクライオ生検法、(4)凍結試料の２％パラフォルムアルデヒド・アセトン中での凍結置換固定法、(5)凍結置換固定組織からの凍結切片作製と免疫染色法、(6)共焦点レーザー顕微鏡での観察をします。

〔協力：山梨大学大学院医学工学総合研究部　解剖分子組織学教室〕

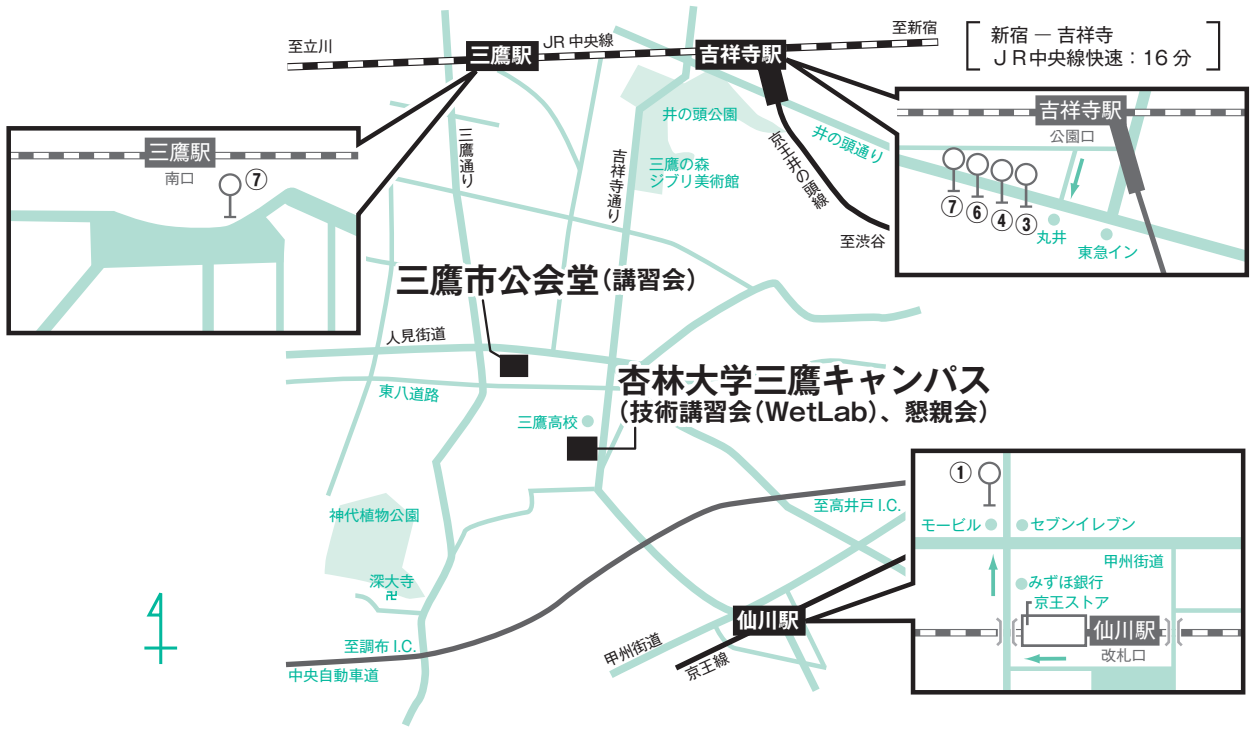
Lコース 定員15名 川本法による未固定非脱灰凍結切片とパラフィン切片の作製

酵素組織化学、免疫組織化学、*in situ* hybridization法は、生命科学の研究、病理診断等において基本的な手法で、凍結切片は酵素活性や抗原性の保存に優れていることから重要な役割をはたしています。川本忠文先生（鶴見大学・歯学部・RI研究センター）によって開発実用化されました切片支持用粘着フィルムを使用する方法により、凍結切片作製が困難であった試料、パラフィン切片作製が困難であった試料等から形状が保たれた薄い切片を安定して作製することができるようになりました。

本コースでは、川本先生の講演と実演・実習を行います。凍結切片作製では、①凍結包埋、②凍結切片作製、③染色・封入について、パラフィン切片作製では、①切片作製、②脱パラフィン、③染色について行います。また、研究への応用について、川本先生に直接相談することができます。

〔協力：ライカマイクロシステムズ株式会社　バイオシステムズ事業部〕

7. 会　場（詳細は講習会ホームページをご覧ください）



講習会：三鷹市公会堂

〒181-8555　東京都三鷹市野崎1-1-1
http://mitaka.jpn.org/kokaido/

★講習会会場へのアクセス

※公共交通機関にてご来場ください。

◇バス

（料金前払い210円均一。PASMO、SUICA利用可）

JR中央線「三鷹駅」南口

▶バスのりば：南口ロータリー内

●バスのりば⑦

鷹54　仙川行、晃華学園東行（約15分）
⇒『三鷹市役所前』下車

JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」公園口（南口）

▶バスのりば：駅から直進、井の頭通り「丸井」前

●バスのりば③

吉01　境92　武蔵境駅南口行（約20分）
⇒『三鷹市役所前』下車

●バスのりば④

吉06　調布駅北口行（約20分）
⇒『三鷹市役所前』下車

京王線「仙川駅」

▶バスのりば：駅北側へ徒歩5分、甲州街道を渡る

●バスのりば①

鷹54　三鷹駅行（約20分）
⇒『三鷹市役所前』下車

Wet Lab：杏林大学三鷹キャンパス

〒181-8611　東京都三鷹市新川6-20-2
http://www.kyorin-u.ac.jp/

★Wet Lab会場へのアクセス

※公共交通機関にてご来場ください。

◇バス

（料金前払い210円均一。PASMO、SUICA利用可）

JR中央線「三鷹駅」南口

▶バスのりば：南口ロータリー内

●バスのりば⑦

鷹54　仙川行、晃華学園東行（約20分）
⇒『杏林大学病院前』下車

JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」公園口（南口）

▶バスのりば：駅から直進、井の頭通り「丸井」を右へ

●バスのりば⑥

吉04　野ヶ谷行、深大寺行（約20分）
⇒『杏林大学病院入口』下車

吉05　調布駅北口行〔杏林大学病院経由〕（約20分）
⇒『杏林大学病院前』下車

●バスのりば⑦

吉03　仙川行、新川団地中央行、杏林大学病院前行（約20分）⇒『杏林大学病院前』下車

京王線「仙川駅」

▶バスのりば：駅北側へ徒歩５分、甲州街道を渡る

●バスのりば①

鷹54　三鷹駅行、吉03　吉祥寺駅中央口行（約15分）
⇒『杏林大学病院前』下車

◇タクシー

JR「三鷹駅」南口、JR「吉祥寺駅」中央口より、10～25分（1500円程度）

平成23年　　月　　日

第36回組織細胞化学講習会受講申込書

FAX：075-415-3662

▼受講希望者情報：すべての項目に記入してください。

1．お名前（姓・名）

2．フリガナ（姓・名）

3．在会状況
□正会員　□学生会員　□正会員入会予定　□学生会員入会予定　□非会員一般
□非会員学生（※学部学生・大学院生）（いずれかを選択）

4．会員番号（会員の方のみ）

5．所属先

6．所属先郵便番号　－

7．所属先住所

8．所属先ＴＥＬ　－　－

9．所属先ＦＡＸ　－　－

10. E-mail

11. 講習会受講回数
□初めて　□２回目　□３回目　□４回目　□５回目以上

12. 本講習会を何で最初に知りましたか？
□DM　□ポスター　□講習会ホームページ　□日本組織細胞化学会 Newsletter
□他学会学会誌 / 会報 /HP　□他学会大会　□企業情報誌
□教員等からのご紹介　□その他　（いずれかを選択）

13. 受講希望にもっとも影響したのは
どれですか？
□DM　□ポスター　□講習会ホームページ　□日本組織細胞化学会 Newsletter
□他学会学会誌 / 会報 /HP　□他学会大会　□企業情報誌
□教員等からのご紹介　□その他　（いずれかを選択）

14. 連絡先（テキスト送付先）
□所属先　□自宅（いずれかを選択）

▼自宅情報：連絡先（テキスト送付先）に自宅を希望される場合にのみ記入して下さい。

15. 自宅郵便番号（自宅希望者のみ）　－　－

16. 自宅住所（自宅希望者のみ）

17. 自宅 TEL（自宅希望者のみ）　－　－

18. 自宅 FAX　－　－

▼技術講習会（Wet Lab）希望コース、懇親会参加希望情報

技術講習会（Wet Lab）は、講習会受講者を対象に行います。技術講習会（Wet Lab）のみの受講はできません。

19. 技術講習会（Wet Lab）
□参加する　□参加しない　（いずれかを選択）

20. 技術講習会希望コース（希望者のみ）

第１希望	第２希望	第３希望

【重要】第１希望コース以外は受講しない場合、第２希望、第３希望には「希望なし」と記載してください。

21. 懇親会
□参加する　□参加しない　（いずれかを選択）

【個人情報の管理について】

頂いた個人情報については、日本組織細胞化学会が責任をもって管理し、講習会開催事業に必要な範囲内で使用させて頂きます。
日本組織細胞化学会は、一部業務を外部委託しており、その業務に必要な個人情報を預託することがあります。
なお、Wet Lab にご参加頂く方につきましては、Wet Lab 参加企業より、申込書に記載された連絡先に Wet Lab に関する連絡が行われる場合がございますのでご了承下さい。
また、今年度受講登録をされた方には、翌年、翌々年の講習会および当学会主催の総会・学術集会のご案内をお送りさせて頂きます。
当会からのお知らせがご不用な場合は、恐れ入りますが下記事務局までお申し出下さい。

お問い合わせ先　日本組織細胞化学会事務局
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入　TEL：075-415-3661　FAX：075-415-3662　E-mail：jshc@nacos.com

会員番号（　　）

講習会専用

年　月　日

日本組織細胞化学会入会申込書

＊太枠内の項目のみ、会員名簿へ掲載致します。会員名簿への掲載を希望しない項目があれば、□にチェックをつけて下さい

氏　名	Family name / 姓	First name / 名	生　年　月　日
			西暦　　年　　月　　日
性　別	男 性　・　女 性	会員種別	正会員　・　学生会員（大学学部生または大学院生）
連絡先（会誌送付先）	所属機関　・　自　宅		

□所属機関名称：（学科、講座、研究室まで記入してください）

□所属機関住所：〒

□所属機関 TEL：　　□所属機関 FAX：

□E-mail：

□自宅住所：〒

□自宅 TEL：　　□自宅 FAX：

（学生会員の方のみご記入下さい）
上記の者は、

_____ 大学 _____ 学部 _____ 学科_____ 年

_____ 大学大学院 _____ 学研究科 _____学専攻 _____課程 _____年の学生であることを証明します。

指導教員署名　　印

＊該当項目にチェックを付けてください。

□e-mail alert（電子ジャーナル “Acta Histochemica et Cytochemica” に新しい論文が掲載されたことを e-mail でお知らせするサービス）の配信を希望する

＊入会された方には会員特典として、後日、以下のいずれかのテキストを送付致します。ご希望のテキストにチェックを付けてください（※いずれか1つ）。
但し、受付は先着順となりますので、ご希望のテキストの在庫が終了した場合には、任意のテキストが送付されますことをご了承ください。

□2008 年度第 33 回講習会テキスト　□2009 年度第 34 回講習会テキスト　□2010 年度第 35 回講習会テキスト

□2011 年度第 36 回講習会テキスト（※本年度講習会受講時に配布されるテキストと同じものです）

《必ずお読み下さい》

◆第 36 回組織細胞化学講習会参加予定の皆様へ

講習会参加者で、講習会受講者専用入会申込書にて入会手続きをとられた方に限り、入会金（2,000 円）が免除されます。
以下詳細をご熟読の上、取扱有効期限内に入会手続きを完了して下さい。

【取扱有効期限：2011 年 6 月 30 日消印有効】

◆個人情報の管理について

頂いた個人情報については、日本組織細胞化学会が責任をもって管理し、個人情報取扱規程に基づき、使用させて頂きます。また、会員相互の研究上の連絡、会員相互の親睦等、本学会の存立目的に必要と認められる場合に、同内規に基づき、会員に開示することがあります。なお、お申し出のないかぎりご退会後もお名前とご所属先の情報のみ当学会で保管いたします。

当学会は、一部業務を外部委託しており、その業務に必要な個人情報を預託することがあります。個人情報の開示・訂正・削除及び当会からのお知らせがご不用な場合は、恐れ入りますが下記事務局までお申し出下さい。

◆入会手続について

①本申込書を下記事務局までお送り下さい（FAX：075-415-3662 送付可）。
②該当する年会費（下段参照）を下記口座へお振込み下さい。
　本学会発行の郵便振替用紙がご入り用の場合は、右欄にチェックをつけて下さい。　**振替用紙希望**　□
③入金確認後、事務局より会員番号をお知らせします。これにより入会手続きの完了となります。

◆年会費について

年会費は会員種別により異なります。正会員は￥10,000－、学生会員（大学学部学生または大学院学生）は￥5,000－です。

次年度以降の会費納入については、従来の郵便振替の他、口座振替もご利用頂けます。口座振替をご希望の方は、必要書類 をご送付申し上げますので、下記事務局までご請求下さい。

◆学生会員の方へ

対象は、大学学部学生または大学院学生です。指導教員の証明が欠けている場合は、学生会員と認められませんのでご注意下さい。

◆申込書送付先・個人情報についての問合先

日本組織細胞化学会　事務局：〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル　中西印刷株式会社 学会部内
FAX：075-415-3662（FAX 送付可）　TEL：075-415-3661　E-mail：jshc@nacos.com　URL：http://www3.nacos.com/jshc/

◆入会金及び当年度会費送金先

郵便振替口座：01030-9-4796　加入者名：日本組織細胞化学会